

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツ学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義演習
科 目 名	柔道整復スポーツ研究 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期	教室名	2校舎実習室およびPCルーム
担 当 教 員	川村智広・仲村剛・岩村一成	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
興味のある分野・内容の先行研究を調べ近い内容でグループを作成し、最終発表を目標に計測およびデータの収集、発表資料の作成を行う。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験: % 2. レポート: % 3. グループワーク中の態度・発表: 100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
パソコン(パワーポイント・スピーカー)、各種計測機器など						
《授業外における学習方法》						
各自で、研究対象となる論文を検索したり、雑誌を閲覧し、過去にどのような研究が、どのような方法で行われているかを知る。また、統計処理も必要となるため、前期にて履修した情報科学を復習しておくことも必要である。						
《履修に当たっての留意点》						
社会的ニーズが激しく変化する現代においては専門技術はもとより主体性をもって事にあたり、創造力、応用力を持ち、自立して行動できる人材が求められている。つまりは論文を作成する目的は、ただ研究内容をまとめて発表するだけでなく、“自ら考え、行動し、そして、それを纏め上げる力”を養うことを目的としています。日々自己研鑽に励み職業人としての能力を養ってください。						
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容		
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標 研究の意義の説明と具体例の揭示①	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。		
	各コマにおける授業予定	研究の目的				
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 研究の意義の説明と具体例の揭示②	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。		
	各コマにおける授業予定	論文の構成				
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 論文検索方法の習得と検索①	各種計測機器 パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。		
	各コマにおける授業予定	論文検索方法				
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 論文検索方法の習得と検索②	各種計測機器 パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。		
	各コマにおける授業予定	論文検索方法				
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 興味のある分野での論文の検索①	各種計測機器 パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。		
	各コマにおける授業予定	テーマに沿った論文検索				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	興味のある分野での論文の検索②	各種計測機器 パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
	各コマにおける授業予定	テーマに沿っての論文検索			
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	測定に使用できる機器の説明①	各種計測機器 パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
	各コマにおける授業予定	設置機器の使用手法			
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	測定に使用できる機器の説明②	各種計測機器 パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
	各コマにおける授業予定	設置機器の使用手法			
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	論文の検索を行い、テーマを選定する①	各種計測機器 パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
	各コマにおける授業予定	担当教員と確認しテーマ選定			
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	論文の検索を行い、テーマを選定する②	各種計測機器 パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
	各コマにおける授業予定	担当教員と確認しテーマ選定			
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	PubMed等を使用しての先行研究の検索①	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
	各コマにおける授業予定	先行研究の検索			
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	PubMed等を使用しての先行研究の検索②	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
	各コマにおける授業予定	先行研究の検索			
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	PubMed等を使用しての先行研究の検索③	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
	各コマにおける授業予定	プロトコールの作成			
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	PubMed等を使用しての先行研究の検索④	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
	各コマにおける授業予定	プロトコールの作成			
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	発表までを一緒に進めるグループを作成する①	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
	各コマにおける授業予定	グループ内でプロトコールの検討			

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツ学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義演習
科 目 名	柔道整復スポーツ研究 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期	教室名	2校舎実習室およびPCルーム
担 当 教 員	川村智広・仲村剛・岩村一成	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
興味のある分野・内容の先行研究を調べ近い内容でグループを作成し、最終発表を目標に計測およびデータの収集、発表資料の作成を行う。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験: % 2. レポート: % 3. グループワーク中の態度・発表: 100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
パソコン(パワーポイント・スピーカー)、各種計測機器など						
《授業外における学習方法》						
各自で、研究対象となる論文を検索したり、雑誌を閲覧し、過去にどのような研究が、どのような方法で行われているかを知る。また、統計処理も必要となるため、前期にて履修した情報科学を復習しておくことも必要である。						
《履修に当たっての留意点》						
社会的ニーズが激しく変化する現代においては専門技術はもとより主体性をもって事にあたり、創造力、応用力を持ち、自立して行動できる人材が求められている。つまりは論文を作成する目的は、ただ研究内容をまとめて発表するだけでなく、“自ら考え、行動し、そして、それを纏め上げる力”を養うことを目的としています。日々自己研鑽に励み職業人としての能力を養ってください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	発表までを一緒に進めるグループを作成する②	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。	
		各コマにおける授業予定	グループ内でプロトコルの検討			
第17回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	テーマの決定①	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。	
		各コマにおける授業予定	グループごとにテーマの選定			
第18回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	テーマの決定②	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。	
		各コマにおける授業予定	グループごとにテーマの選定			
第19回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	PubMed等を使用してのテーマに沿った先行研究の検索①	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。	
		各コマにおける授業予定	グループごとにテーマの先行研究検索			
第20回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	PubMed等を使用してのテーマに沿った先行研究の検索②	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。	
		各コマにおける授業予定	グループごとにテーマの先行研究検索			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	PubMed等を使用してのテーマに沿った先行研究の検索③	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	グループごとにテーマの先行研究検索		
第22回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	PubMed等を使用してのテーマに沿った先行研究の検索④	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	グループごとにテーマの先行研究検索		
第23回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	測定項目を決定と測定に使用する機器の測定方法の確認①	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	プレプロトコールの作成		
第24回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	測定項目を決定と測定に使用する機器の測定方法の確認②	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	プレプロトコールの作成		
第25回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	グループ内でのプレ測定の実施①	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	プレ実験の実施		
第26回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	グループ内でのプレ測定の実施②	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	プレ実験の実施		
第27回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	プレ測定の結果を用いての中間発表①	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	プレ測定結果発表		
第28回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	プレ測定の結果を用いての中間発表②	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	プレ測定結果発表		
第29回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	グループごとのプレ測定結果の中間発表③	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	プレ測定結果発表		
第30回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	グループごとのプレ測定結果の中間発表④	パソコン	自身の研究テーマに基づく論文を読む。
		各コマにおける授業予定	プレ測定結果発表		